



## 奄美の相撲文化を発信「EXPO2025 大阪・関西万博」

8月4日(月)、相撲が盛んな国内の9自治体がそれぞれの地域の相撲文化を紹介し、国内外に発信する。

古くから相撲文化が根付く奄美群島からは、瀬戸内町と徳之島町が参加予定。



初土俵の豆力士



瀬戸内町は、化粧まわしを締めた赤ちゃんに土俵を踏ませる「赤ちゃんの土俵入り」や、力士が土俵の周りを歌い踊る「相撲甚句」といった五穀豊穡を願う祭で行われる伝統芸能を披露する予定です。

一方、徳之島町は、地元出身力士で第46代横綱朝潮太郎(本名:米川文敏)について紹介する予定です。

奄美大島は各集落に土俵が設置されていて伝統文化として相撲が根付いている地域です。

地元新聞記事より

## 郷友会開催のご案内



### 東京住用会 総会・懇親会

日程:5月11日(日) 12:00-16:00

会場:きゅりあん 6階大会議室

交通:大井町駅 徒歩 2分

京浜急行線「青物横丁駅」徒歩 15分

★二次会16時~17時 45分(2,000円)

### 関東安陵会 総会・懇親会

日程:6月7日(土) 11:30-14:50

会場:上野精養軒 3F 桜の間

☎ 03-3821-2181

連絡先アドレス

kantouanryoukai@gmail.com

### 東京芦良会 総会・懇親会

日程:6月8日(日) 12:00~16:00

会場:川崎沖縄県人会館

☎ 044-233-8584

交通:JR川崎駅東口からバス約11分

市営埠頭行 中島交番前下車3分

### 東京沖州会 総会・懇親会

日程:6月15日(日) 11:30-15:30

会場:きゅりあん(品川区立総合区民会館)

☎ 03-5479-4100

会費:男性 8,000円 女性 7,000円

ご夫婦 13,000円 学生 3,000円

## 第 28 回 渋谷・鹿児島おはら祭

「渋谷・鹿児島おはら祭」が 5 月 17 日～18 日に開催されます。

渋谷は、ロンドンやパリ、ニューヨークに並ぶ東京の都市としてファッションやカルチャーなど流行を発信する世界的な都市であり、渋谷スクランブル交差点には多くの観光客が訪れる活気ある街です。

その有名な渋谷のスクランブル交差点を約 5 時間も交通規制し、道玄坂・文化村通りをメイン会場に「おはら節」「渋谷音頭」などの曲に合わせ踊りながら練り歩きます。

かごしまの芋・麦・黒糖焼酎や特産品の販売、また、観光案内などもあります。

奄美群島からは、4 連(東京奄美会女性部/東京喜界会/関東徳之島会/奄美高校同窓会)が参加予定です。ご声援よろしくお願ひします。

第 1 部は審査対象ですが、第 3 部は飛び入りで参加 OK です、一緒に踊りましょう！



## 書籍紹介

### 【リーディングス 外から見た奄美諸島 —奄美のアイデンティティは何か—】

奄美の土台を作る歴史・自然・言語、そして江戸期から明治、大正、昭和にかけての来訪者が見た奄美の魅力。選りすぐりの 20 本が、奄美の魅力を伝える一冊となっています。

編著者: 叶 芳和 (執筆者 19 人)

A5 判 390 ページ 定価: 2,970 円(税込)

注文受付 南方新社 Mail: info@nanpou.com

FAX: 099-248-5457

[TEL: 099-248-5455](tel:099-248-5455)



### 「奄美大島における今日的葬儀の民俗学的研究

—龍郷町円および宇検村平田・湯湾の事例を中心として—

世界自然遺産の奄美大島において今も受け継がれる伝統的な葬儀文化がどのように変わってきたかを追いながら、現代の新しい要素との共存を描く。伝統の重みを感じつつ、今も息づく儀礼の姿に触れる。 著者: 立神作造 A5 判 268 ページ

定価 2,640 円(税込) (送料 430 円～)

申込み先 株式会社 盈進社(エイシンシャ) 担当: 川波

Mail: info@eishinsya.co.jp

FAX: 03-5210-7226

TEL: 03-3262-3471



## 「徳之島町地域おこし協力隊」募集中!!

島と町の魅力を広く知ってもらい、移住を考える方の一人ひとりに寄り添った相談をする『地域おこし協力隊』を募集します!

### ●業務内容:移住相談/施策に関すること

- ・役場窓口や電話での移住相談対応
- ・移住希望者への町内案内
- ・移住支援協議会(研修会)への参加

詳細&申込はこちら



お問い合わせ/ 徳之島町役場企画課 企画開発係

☎0997—82—1112

\*地域おこし協力隊とは、都市地域から過疎地域の条件不利地域に住民票を異動し、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組です。任期はおおむね1年～3年です。(総務省HPより)



## = 異動のご挨拶 =

この度、令和7年度奄美市の定期人事異動により奄美市へ帰任致しました。私は、平成14年4月から平成18年3月の4年間と令和4年4月～令和7年3月までの3年間の計7年間、東京事務所に勤務させていただきました。

在任中には、奄美群島において、重要な奄振法延長や奄美群島日本復帰記念の50年、70年の節目の年で、党派を超えた国会議員の方々の取組や国、県、地元市町村との連携、また、出身郷友会の方々や、数多くの皆様のご支援、ご協力のもと、仕事をさせていただき、心から感謝いたしております。

令和4年に赴任した際は、コロナ禍でしたが、令和5年5月8日からは、新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」になり、奄美大島世界自然遺産登録の効果で、観光客からの旅行に関する問い合わせなどが増えました。また、東京奄美会をはじめとする各種団体が、ふるさと交流、エージェント招待事業、行政視察などで奄美大島を訪問する機会も増え、その対応など充実した日々を過ごさせていただきました。

また、在任中には、国会議員事務所、鹿児島県人会、東京奄美会の皆様、国、県、都市東京事務所の職員の皆様との交流を通じて、奄美の魅力などを再認識することも多く、大勢の皆様と知り合うことができましたことに心より感謝いたしております。

帰任から一月が経ちましたが、新たな職場となります「奄美市農業研究センター」は、自然豊かな名瀬朝戸地区に位置し、ルリカケスをはじめ、野鳥のさえずりが日々、響きわたる環境です。

退職まで残り2年となる私にとって、奄美大島の農業振興の仕事をして頂きますことに喜びを感じており、これまで以上に頑張りますので引き続きよろしくお願い申し上げます。

本来であれば直接ご挨拶に伺うべきところですが、書面にて失礼いたします、本当にありがとうございました。

終わりに、皆様のますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げ、簡単ではございますが転任のあいさつといたします。

前奄美市東京事務所長 重信 竜昇